

⑤【単元目標】 文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。

⑥【単元の言語活動】 登場人物の行動や気持ちについて叙述をもとに想像して読み、感じたことを話し合う。

（相手：3年生 目的：一人一人の感じ方の違いに気づく 方法：発表と交流 場面：交流 評価：一人一人の感じ方の違いに気づけたか。

④【教材の特徴】

・本作品の組み立ては、始まり、出来事が起こる、出来事が変化する、結びであって分かりやすく、しかも不思議な出来事が続くので、想像を広げて味わうことができる。

③【既習事項】

・『言葉で遊ぼう／こまを楽しむ』では、段落をとらえて読み、感想を話す経験をしている。『きつつきの商売』では、場面の様子を読み取る学習をした。

②【児童の実態】

○自分の感想をもち、ペア交流から、自分と似ている部分異なる部分を見つけることができる。
△長い文の理解やみんなの前で話すことに抵抗を感じる児童がいる。

①【重点とする指導事項】

・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。読むこと（1）オ

⑦【言語活動成立の要件】

ア 場面の組み立て（始まり、出来事が起こる、出来事が変化する、結び）を読み取ることができる。
イ 登場人物の行動や気持ちの表れているところを見つけることができる。
ウ 登場人物（ぼく）の行動や会話、考えについての感想や、出来事についての感想をもつことができる。

⑧【単元の流れ】

<p>【第1次】1時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名から話の内容を想像する。 ・単元名、リード文から学習課題の設定、学習計画を立てる。感想をもつ。 	<p>【第2次】3時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通読して話のあらすじをつかみ、九つの場面を4つのまとまりに分ける。 ・第1～2場面での「ぼく」の特に動物に対する言動や気持ちを読み取る。 ・第3～7場面での不思議な出来事と動物、特にかえるへの思いの変化を読み取る。 ・第8～9場面での不思議な出来事の変化と特にトラノスケへの思いの変化を読み取る。 	<p>【第3次】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことを整理し、その理由と共に書きまとめる。 ・交流をして、友達の感想から考えたことや感じたことを書く。 	<p>【交流活動の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えの根拠となる叙述を短く書き、考えを書く。交流では、特に違いに気を付けて聞き、感想を言う。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

並行読書…不思議なことや大騒ぎが起こる物語を読み、出来事に気をつけたり感想をもったりする。

⑨【単位時間の工夫】

<p>【第1次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつも気をつけよう」や学習の手引きを活用して、課題を設定し計画をたてる。 	<p>【第2次】（本時4／6）</p> <p>展開・「ぼく」の行動や気持ちの表れている叙述について、欄外に「ぼく」の気持ちを書いて、話し合う。</p> <p>・「ぼく」のトラノスケに対する気持ちの変化について話し合う。</p> <p>まとめ・不思議なことが起きる前と後での、「ぼく」の変化について振り返る。</p>	<p>【第3次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想交流は、生活班ごとと取り上げた場面ごとのグループで行い、違いを意識しやすくする。 	<p>【交流活動の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えの根拠とした叙述と考えを言うようにする。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

⑩【支える学習環境】

・行動や気持ちが表れている叙述の例（言葉のたから箱）
・感想を伝えるときに使える言葉の例（言葉のたから箱）
・感想交流の仕方の例（話し方、聞くときの着眼点、質疑応答など）
・並行読書用図書の設置

【研究とのかかわり】

(1) 願いを明確にした単元指導計の工夫

・不思議な出来事の前後での主人公の変化をみつめるために、扱う叙述を決めて線を引き、事前に分かっているようにしておく。行動や気持ちについて、焦点化した話し合いをめざす。
・主人公の変化を意識できるように、動物に対する思いを考える時間を位置づける。

(2) 考えを深めるための指導の工夫

・主人公の変化を複数の場面で比べながら考えられるように、始めのころの叙述と気持ちをまとめた掲示物で視覚化できるようにしておく。

(3) 自己の高まりを自覚できるまとめ方の工夫

・主人公の動物に対する気持ちの変化がとらえられたかを自己評価できるように、達成できたといえる内容（動物に対する距離感が縮まったこと）があればよいことを示す。

◆本時のねらい

猫のトラノスケの言葉が聞こえなくなったときの「ぼく」の行動や気持ちを考えることを通して、不思議な出来事が起こる前と後とで、「ぼく」の猫のトラノスケに対する愛着が変わったことを読み取ることができる。

◆本時の展開（4／6）

	学習活動と児童の姿	指導上の留意点（☆人権教育の視点）	
つかむ	1 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">課題 不思議な出来事後の「ぼく」のトラノスケに対する気持ちを読み取ろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 物語の構成は（1）始まり…1場面〔チリンと鳴る〕（2）出来事（事件）が起こる。2～6場面〔チリンと鳴ったら声が聞こえた〕（3）出来事が変化する。…7場面〔雨が降りだし、音が消えた〕（4）結び…8，9場面〔音が鳴らないが言いたいことが分かる〕になっている。本時は、第8，9場面を中心に扱う。 行動や気持ちを表す表現の読み取りでは、話し合う叙述に線を引いておき、欄外に気持ちを書き込む。 不思議なことが起きる前の「ぼく」の行動や気持ちの表れている表現やその思い（第2場面）を、掲示物で確認する。 	
考える	2 8，9場面での「ぼく」の行動や気持ちを表す表現から、「ぼく」の気持ちを考える。 <ul style="list-style-type: none"> 「ご用は、全部すんだか。」 →朝、用事があるといっていたな。 雨が降る前にがんばって用事を済ませたのかな。 ・トラノスケをごしごしふいてやった。 →トラノスケだって、ぐしょぐしょに濡れて寒いだろう。 足も泥だらけだ。ご用をするために頑張ったのだから、拭いてあげよう。 ・トラノスケがなんて言いたいのか、ぼくには、よく、分かったよ。 →「朝言った通りに、雨は降っただろう。」「ご用を済ませたさ。」「拭いてくれてありがとう。」と言いたいのだろう。雨は降ったし、さっき拭いてあげたから。「もうすぐ雨になるよ。」と教えてくれたのだね。ありがとう、トラノスケ。もう声は聞こえないけれど、ぼくには分かるよ。 		
深める	3 深めの発問を聞いて、「ぼく」の変化を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">不思議な出来事が起こる前と後で、「ぼく」のトラノスケに対する気持ちはどう変わったのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・前は、トラノスケはご用がたんとあるのに、「いいな、遊びに行けて。」と、あまり考えていなかったけれど、後からは、トラノスケの様子をよく見て体拭いてやって優しくなった。何が言いたいのかも考えているから、変わった。 ・前は、他の動物のこともあまり考えていなかったけれど、いろいろな動物の声が聞こえて分かったから、後からは、トラノスケの気持ちも考えるようになった。 		
まとめる	4 ペア，全体で交流する。 5 「ぼく」のトラノスケに対する思いの変化をまとめる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">前は、トラノスケは遊んでばかりと思って、あまり考えていなかった。でも後は、雨の中でも用を済ませに行っているんだと分かって、濡れたトラノスケの体を拭いてあげるくらい優しくなった。</div>		<ul style="list-style-type: none"> ☆相手の話の根拠や考え方を最後まで聞き、理解しようとする心情を育てる。「認識力」
	6 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 【読む能力】</p> <p>主人公とトラノスケとの距離感が縮まったことをまとめることができる。（ノート・発言）</p> </div>